

令和8年度第1回兵庫県がん診療連携協議会幹事会

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の運営現状

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の構成

がん診療連携拠点病院

- 国指定: 18病院
 - 県指定: 6病院
 - 準拠点病院: 23病院
- 計47病院

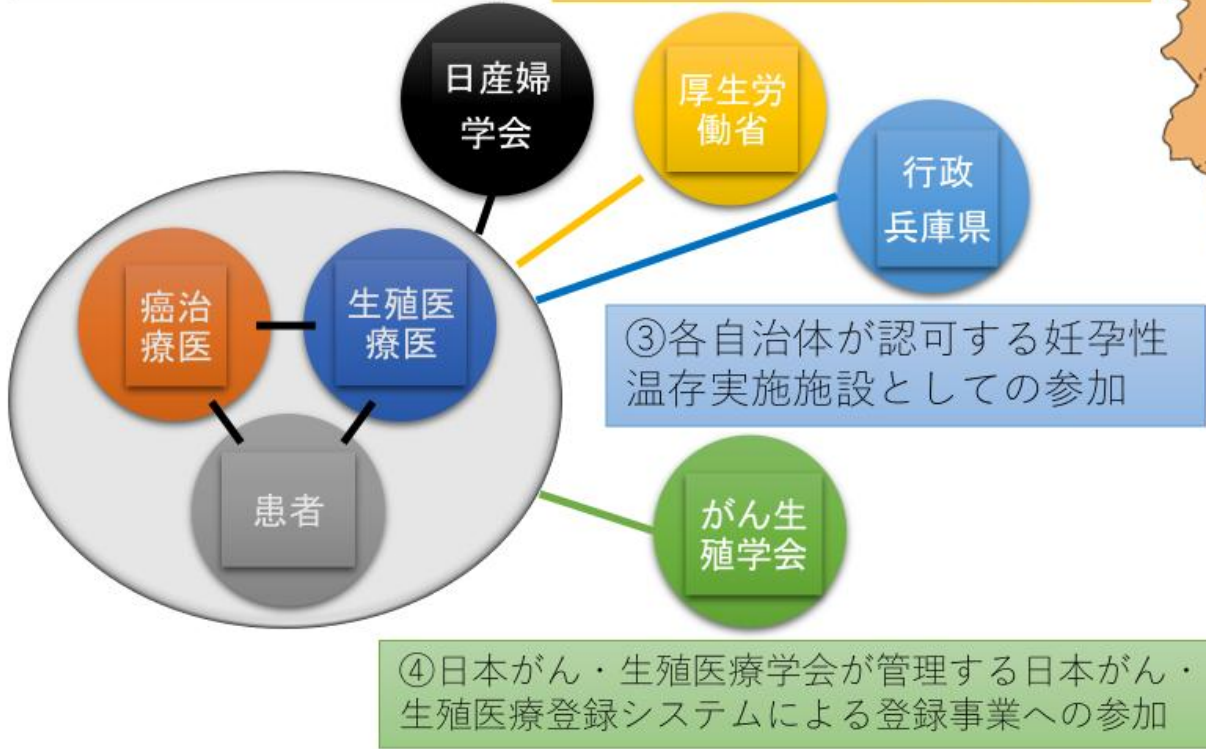
不妊治療施設

- ★ 参加: 4施設
- 不参加: 22施設

2016年1月: 兵庫県がん・生殖医療ネットワーク設立
 2021年4月: 妊孕性温存療法研究促進事業開始

②日本産科婦人科学会が定める新しい施設認定制度

①厚生労働行政推進調査事業費補助金がん対策推進総合研究事業



④日本がん・生殖医療学会が管理する日本がん・生殖医療登録システムによる登録事業への参加



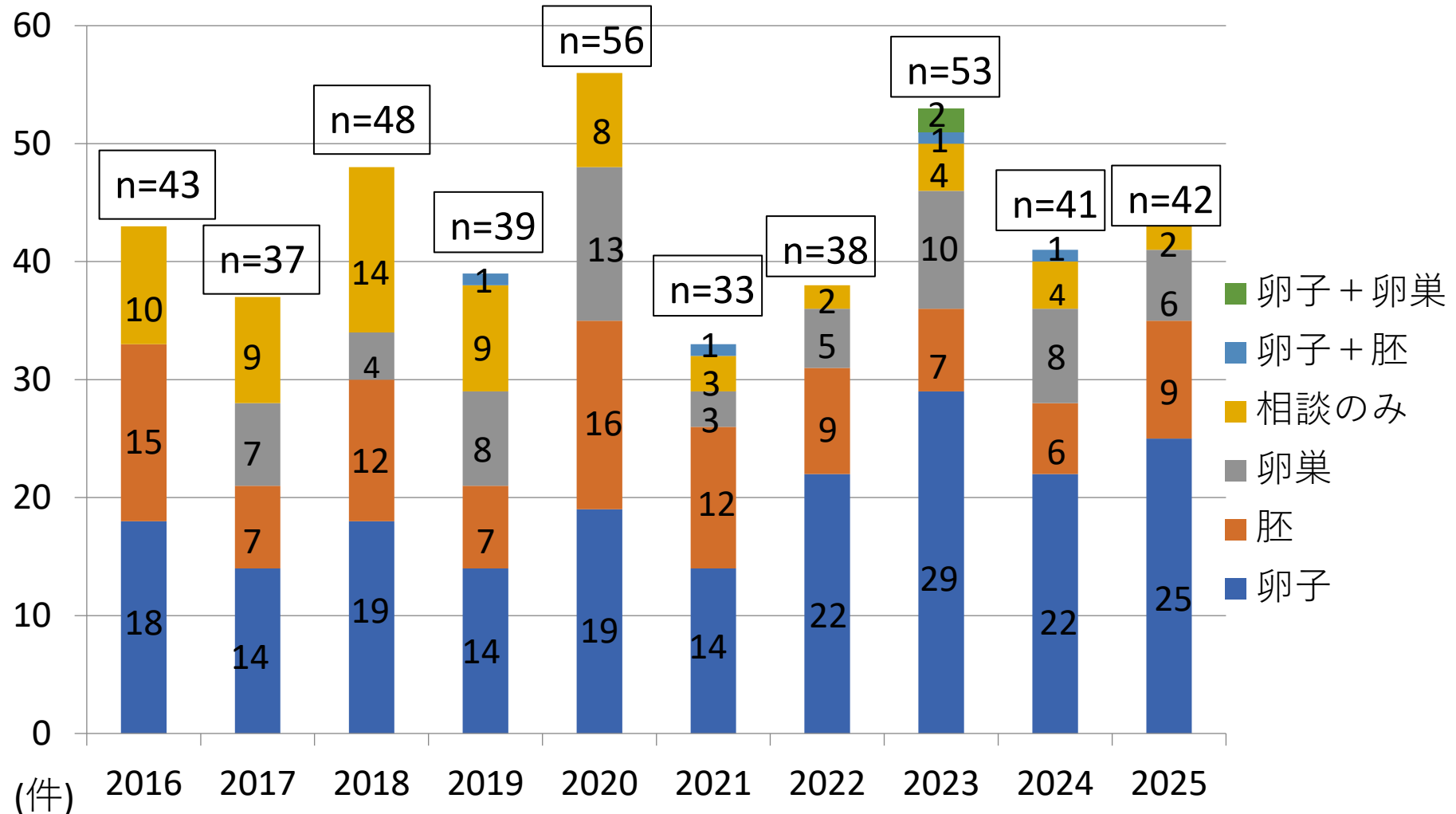
兵庫県 妊孕性温存療法研究促進事業 生殖医療指定医療機関

指定医療機関（令和7年4月1日現在）

下記が指定医療機関となりますが、まずは原疾患担当医師にご相談下さい。

	医療機関名	郵便番号	住所
1	兵庫医科大学病院産科婦人科（外部サイトへリンク）	663-8501	西宮市武庫川町1番1号
2	英ウィメンズセントラル ファティリティクリニック （外部サイトへリンク）	650-0021	神戸市中央区三宮町1丁目1-2三宮セントラルビル7・8階
3	徐クリニック（外部サイトへリンク）	662-0822	西宮市松籟荘10-25
4	第二協立病院（外部サイトへリンク）	666-0033	川西市栄町5番28号

兵庫県がん・生殖医療ネットワーク設立後の女性における妊孕性温存実施数の推移

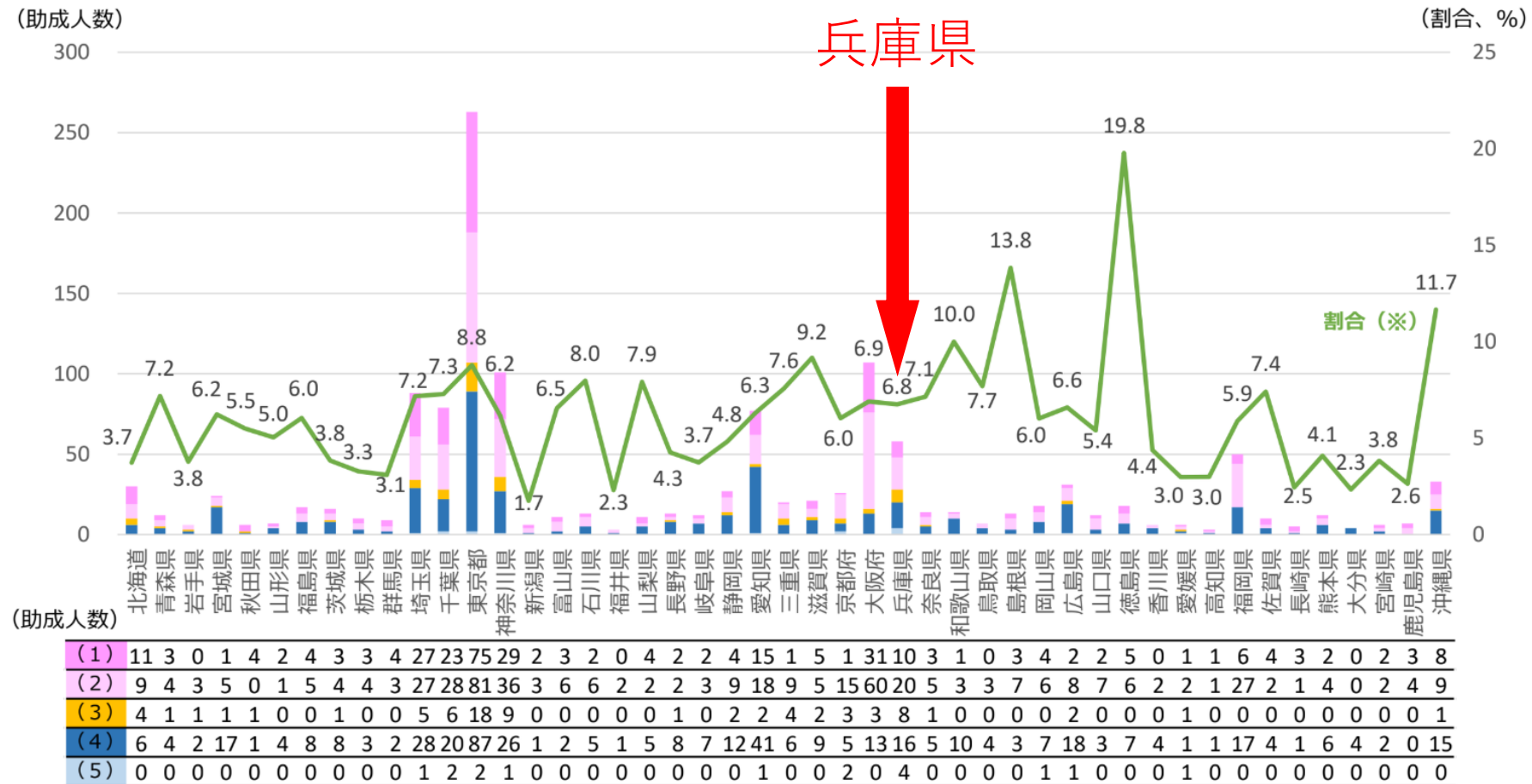


- ・ 妊孕性温存療法研究促進事業：全国展開（2021年4月から）
- ・ 妊孕性温存治療費助成事業：対象外の市町あり（2022年4月から、対象外の市町あり）

小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業都道府県別助成実績

出典：厚生労働省「がん・生殖医療連携ネットワーク事例集」より一部改変

令和5年度助成実績（妊孕性温存療法）



兵庫県

兵庫県の助成実績は6.8%にとどまっており、全国的な傾向と同様に、妊孕性温存療法の周知や相談体制のさらなる強化が必要と考えられる。

令和 8 年 4 月 13 日

兵庫県がん生殖医療ネットワーク事務局

兵庫医科大学 産婦人科

平素より地域医療の発展に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年のがん治療の進歩により、多くの患者さんが長期生存を得られるようになりました。一方で、治療に伴う性腺機能不全により、将来の妊孕性（生殖機能）が損なわれる可能性が明らかとなっています。特に小児・思春期・若年成人（AYA 世代）の患者さんにとっては、将来のライフプランに関わる重要な課題であり、治療開始前からの適切な情報提供と意思決定支援の重要性が高まっています。

このような背景のもと、兵庫県では 2016 年 1 月に「兵庫県がん生殖医療ネットワーク」を設立し、がん診療医と生殖医療専門医、多職種が連携して妊孕性温存医療の普及と均てん化を推進してまいりました。本ネットワークは、AYA 世代の患者さんが将来の妊娠出産の選択肢を持ちながら安心して治療に臨める体制整備を目的としております。現在は、県内の 4 つの指定生殖医療施設（兵庫医大・英ウイメンズクリニック・徐クリニック・第二協立病院）へご紹介いただき、妊孕性温存治療（卵子・精子・卵巣凍結）が公費助成で実施されています。

立ち上げ当初は産婦人科に加え、血液内科・乳腺外科・小児科など複数診療科の先生方にご参画いただき、定期的な委員会で見直しを行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が減少し、委員更新も十分にできていない状況です。今後は連携体制をさらに強化し、活動報告や意見交換の機会を設け、ネットワークの活性化を図ってまいります。

つきましては、貴院におかれましても本ネットワークの趣旨をご理解賜り、下記の事項につきご協力をお願い申し上げます。

1. がん生殖医療ネットワーク担当者のご選任

貴院における窓口としてご担当いただく医師を 1 名ご選任ください。診療科は産婦人科に限らず、乳腺外科、血液内科、小児科など、AYA 世代のがん診療に関わる診療科から広くご検討いただけますと幸いです。院内の AYA サポートチームなどで活動されている方がおられましたらより適任です。

2. ご連絡先のご提供

選任いただいた担当者の氏名、診療科、メールアドレスをご記載のうえ、兵庫県がん診療連携協議会の事務局までメールにてご提出ください。

今後は、がん生殖ネットワーク担当者となる先生方との連携を通じて妊孕性温存治療の周知およびネットワーク体制の強化を図り、地域格差のないがん生殖医療提供体制の構築に努めてまいります。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

相談体制の強化

1. がん生殖医療ネットワーク担当者のご選任

貴院における窓口としてご担当いただく医師を1名ご選任ください。診療科は産婦人科に限らず、乳腺外科、血液内科、小児科など、AYA世代のがん診療に関わる診療科から広くご検討いただけますと幸いです。院内のAYAサポートチームなどで活動されている方がおられましたらより適任です。

2. ご連絡先のご提供

選任いただいた担当者の氏名、診療科、メールアドレスをご記載のうえ、兵庫県がん診療連携協議会の事務局までメールにてご提出ください。

今後の課題

- ▶がん生殖ネットワーク担当者となる先生方との連携を通じて、妊孕性温存治療の周知・相談体制を強化
- ▶これまでの凍結実施数の報告に加え、適宜本ネットワークの取り組みを報告し、必要時に各施設のがん生殖ネットワーク担当者へ協力依頼
- ▶日本がん・生殖医療学会が実施するミニワークショップを活用し、本ネットワークの連携強化
- ▶各施設におけるがん生殖ネットワーク担当者となる先生や務担当者（AYA診療チーム、がん生殖支援チーム、血液内科、乳腺外科、がん相談支援センター等）を対象とした定期的な意見交換会の開催
- ▶癌治療医、生殖医療医、行政との連携を強化し、地域全体でがん生殖医療を支える体制を構築